

新年

網走市長
大場



脩

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さんには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、世界同時不況による景気低迷、台風や集中豪雨による自然災害の多発、新型インフルエンザの流行など、全国的に何かと暗い話題の多い一年でありました。そうした中、地方を取り巻く環境は財政が一層厳しさを増す一方で、医療や介護、年金、福祉施策や雇用問題など、さまざまな課題に直面しております。

これまで地方都市は、地方分権の担い手となり得る体力をつけるため、行財政改革を積極的に進めてまいりましたが、昨秋、国政において政権が交代し、新しい政権では、地方分権からさらに踏み込み、地域が主体的に行政システムを改革していく「地域主権」が推進されることとなりました。このことは、地域づくりを進める上で大きな期待をもつことができるとともに、一方では、地方の責任が極めて重くなることから、自立の意識を高めていくことが大変重要になってまいります。

私は、これまで、「財政の健全化」と「協働のまちづくり」を中心テーマとして、市政推進に取り組み、財政はようやく黒字基調に転じてまいりましたが、財政を取り巻く環境の厳しさは依然として続いておりますことから、昨年も引き続き行財政改革を進め、財政の健全化に努めるとともに、市民とともに取り組むまちづくりの推進、地域経済の活性化、健康と福祉のまちづくり、自然と環境を大切にするまちづくりを重点施策として、「高齢者ふれあいの家」やボランティア活動の充実、地域集会所の整備、新産業の育成や新商品の開発、循環型社会の実現など、多くの課題に取り組んでまいりました。

中でも、健康づくりは元気なまちづくりの基本となるものでありますので、昨年9月には、すべての市民が生涯にわたりスポーツに親しみ、健康づくりに努め、充実した生活を送ることを目指して「健康・スポーツ都市」を宣言いたしました。

また、1月にオープンいたしました道の駅「流水街道網走」は、観光の新しい顔として、多くの方にご利用いただいたところであります。

これからも恵まれた地域の資源を活かし、個性豊かなまちづくりを進めていくために、市民の皆さんと行政が、協力、連携していくことが何より重要であります。皆さんが幸せを感じ、真の豊かさを実感できる活気みなぎるまちづくりを目指し、全力を尽くしてまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

この一年が皆さんにとりまして、明るく幸せな年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

謹賀



網走市議会議長
奥出 宣勝

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さんには、穏やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私も、昨年6月議長に就任してから初めての新年を迎え、改めて責任の重さを実感するとともに、よりよい網走のまちづくりに向けて、今後とも全力を挙げて取り組んでまいりたいと決意を新たにしているところでございます。

さて、昨年を振り返りますと、一昨年のアメリカのサブプライムローン問題に端を発した世界的な経済不況から一年以上が経過いたしました。北海道においては景気回復の予兆がまだ見えず、特に雇用環境は厳しい状況が続いております。また、昨年の総選挙において政権交代という大きな出来事があり、今、自治体や地域を取り巻く環境は大きく変わろうとしております。

また、地方分権が進展する中、分権型社会に対応する財政基盤の確立や行政体制の整備の取り組みなど、地方自治の果たすべき役割は今までに増して大きくなり、市民の福祉向上に大きな責任を負う時代となっております。

こうした中、当市を取り巻く状況は、公共事業の削減や観光産業の長期低迷などによって、地域経済は一段と厳しさを増しており、地域経済の活性化や人口減少・少子高齢化の進展に伴う医療、福祉の充実への対応など、多くの課題が山積しております。

市議会といたしましても、これら諸課題に真摯に取り組み、市政に反映していくことが責務と考えております。

そのため、今後とも市民の皆さんの声をしっかりと受け止め、「安心して豊かに暮らすことのできるまちづくり」に向け、私ども議員一同、これまで以上に議論を深めるなど、議会のさらなる活性化に努めるとともに、より一層開かれた議会づくりに取り組んでまいります。

市民の皆さんには、議会活動に対しまして、今後ともなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆さんにとりまして、健康で幸せな一年でありますようお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。